

# 通学区域審議会から

( 桔梗小・塩尻西小 )  
( 広陵中・塩尻中 )

## 教育委員会に答申がありました

### 第五回審議会を開催しました

3月6日、塩尻総合文化センターで、第五回小・中学校通学区域審議会が、最後の審議会として開催されました。

冒頭、会長から委員の皆さんに対して、答申に向けた具体的な協議をするようお願いがありました。各委員から賛否の意見が出された後、答申内容及び附帯事項について確認し、方向性が了承されました。意見の要旨は次のとおりです。

- アンケートでは賛成が多かったが、限られた地域を見直しても、学校大規模化の解消にならない。
- いろいろな見方ができるので、判断が難しい。
- 今回は結論が出せないが、継続的な議論をお願いしたい。
- 通学時間帯は塩尻駅周辺が混雑するため、駅の中を通るのは心配。
- 現実論として、見直しに賛成。
- 入学前の家庭は65%が賛成なので、見直しを前向きに考えたい。
- 答申は、賛成、反対、保留の3つの意見で答申すればどうか。
- 判断困難という答申だと、審議会の審議の結論としては疑問。



審議会会長から教育長に答申

### 審議会からの答申内容

3月15日、審議会会長から教育長に対し、教育委員会の諮問に対する答申書が渡されました。内容は次のとおりです。

#### ■ 内容

今回の諮問内容については、学校規模の適正化を図るため、通学区域の見直しの必要性はあると考えるが、児童生徒の地域活動への影響や、今回の見直し案だけでは、確実な学校規模適正化につながらないと考えられることなどから、現状では困難であると判断する。

#### ■ 附帯事項

①児童生徒の学習環境の確保について、教室数の不足等への対応を

早急に検討していただきたい。

②アンケート結果では、見直しに賛成する意見も多いことから、その声を大切に、大門七区に対し、将来を見据えた対話を継続していただきたい。

③学校規模適正化の課題解消に向けて、市全体を視野に入れた通学区域の見直し等を検討していただきたい。

④学校規模の適正化としての指定校変更について検討していただきたい。

⑤各校の通学路の安全対策に十分取り組んでいただきたい。

⑥児童生徒の平等な学習環境が守られるように検討していただきたい。

### 定例教育委員会を開催します

定例教育委員会を開催し、今回の通学区域見直しの方向性を決定します。傍聴可能です。

- 日時 4月26日（木）  
午後2時～
- 場所 塩尻総合文化センター  
3階302多目的室

発行 平成30年4月11日 塩尻市教育委員会

通学区域見直しに関する御意見等は、教育委員会事務局こども教育部教育総務課学校支援係に電話（TEL0263-52-0830）又はEメール（[gakkou@city.shiojiri.lg.jp](mailto:gakkou@city.shiojiri.lg.jp)）でお寄せください。